



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

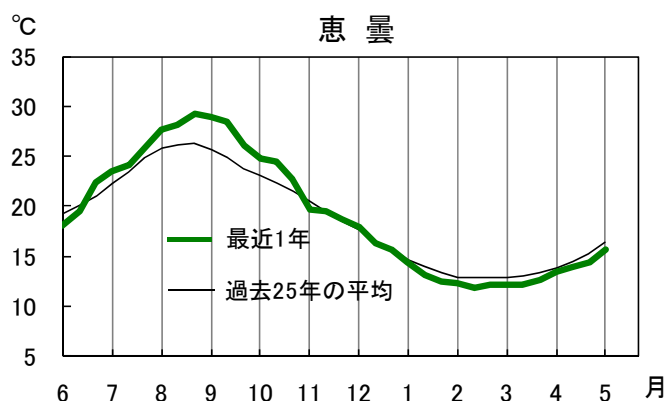
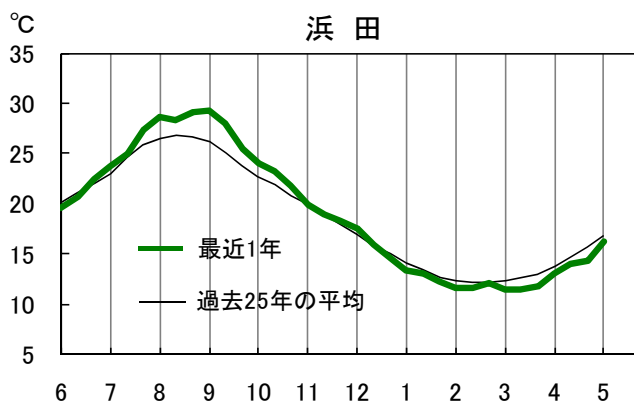
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《4～5月の海況》

4月	月平均	平年差	評価
浜田	13.8℃	-0.9℃	かなり低め
恵曇	13.9℃	-0.6℃	やや低め

沿岸定地水温は、4月は浜田地区では「やや低め～かなり低め」、恵曇地区では「やや低め」と低め傾向で推移しました。5月に入り月上旬時点では、両地区とも「やや低め」で経過しており、低め傾向が継続しています。



《4月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。例年この時期に漁獲のあるカタクチイワシやウルメイワシはわずかな漁獲に止まりました。一方、県東部（西郷地区及び浦郷地区）では主体のカタクチイワシに加えてマイワシも漁獲されました。カタクチイワシは全体量の58%を占め、漁獲量は平年の1.6倍と好調で、マイワシは全体量の38%を占め、漁獲量は平年の7.7倍でした。なお、マアジの漁獲量は平年の5%に止まっており、5月上旬時点でも本格的な来遊はまだ先のようです。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体のほぼ100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）でもスルメイカ主体（全体の100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではキダイ、スルメイカ、ケンサキイカ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は13.6トンと前年・平年を上回り、好調に推移しました。キダイは好調に推移し、平年の3倍の漁獲がありました。さらに、イカ類が好調であり、平年に比べ、ケンサキイカが1.4倍、スルメイカが1.2倍の漁獲がありました。一方、カレイ類は低調であり、平年の7～9割の漁獲にとどまりました。

【小型底びき網漁業】

和江、久手両地区ともソウハチ主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、和江地区は平年を10%上回りましたが、久手地区では平年並みとなりました。和江地区では、ソウハチ、ヒレグロがまとまり、平年の1.4～1.8倍の漁獲がありました。一方、ニギス、アカムツ、アナゴ類は平年を下回り、4～6割の漁獲に留まりました。久手地区では、ソウハチは平年並みの漁獲でしたが、アナゴ類、ヒレグロは好調で、平年の1.7～1.5倍の漁獲となりました。

【定置網漁業】

石見地区では漁獲の主体はマアジでその1統当りの漁獲量は平年の2.7倍と好調でしたが、例年主体となるブリが不漁であったため、全統の総漁獲量は平年の6割に止まりました。出雲地区では漁獲の主体はマアジ・ブリでその1統当りの漁獲量はともに平年の6～7割と不調で、スルメイカ・ヤリイカが好調であったものの全統の総漁獲量は平年の8割でした。隠岐地区でも主体はマアジ・ブリでしたがその1統当りの漁獲量はともに平年の6～7割と不調であったため、全統の総漁獲量は平年の6割でした。

【釣・縄】

石見地区ではメダイ、ブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は24kgで平年並みでした。出雲地区ではブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は58kgで平年を上回りました。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は19kgで平年を下回りました。

【平成23年4月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	サバ類、マアジ	232トン	25%	46%	13.6トン	34%	61%	○
	西郷	カタクチイワシ、マイワシ	5,804トン	143%	132%	87.9トン	143%	148%	◎
	浦郷	カタクチイワシ、マイワシ	3,839トン	153%	133%	72.4トン	159%	158%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	15トン	26%	20%	417kg	98%	134%	◎
	西郷	スルメイカ	0.6トン	5%	3%	49kg	40%	34%	▲
沖合 底びき網	浜田	キダイ、スルメイカ、ケンサキイカ	286トン	111%	86%	13.6トン	111%	108%	◎
小型 底びき網	久手	ソウハチ	142トン	88%	81%	662kg	96%	98%	○
	和江	ソウハチ	300トン	106%	110%	875kg	110%	110%	○
定置網 (大型)	浜田	マアジ	13トン	—	60%	812kg	—	47%	▲
	美保関	ブリ、スルメイカ、ヤリイカ	55トン	65%	60%	548kg	61%	55%	▲
	浦郷	マアジ	12トン	59%	82%	455kg	59%	84%	○
釣り・縄	仁摩	メダイ、サワラ類、ブリ	10トン	30%	53%	34kg	45%	82%	○
	大社	ブリ	58トン	117%	109%	84kg	91%	137%	◎
	西郷	カサゴ・メバル類	3トン	27%	26%	17kg	51%	55%	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした